



進路指導部の古川と申します。今年度、進路通信を担当します。よろしくお願いいたします。

4月当初、本校の三和校長から本校の校訓「自由」「規律」「友情」についてのお話を聞く機会がありました。私自身、本校の全ての教育活動がこの校訓に凝縮されていると改めて気づかされ、感動しました。今年度、第2号より、通信のタイトルを「自由・規律・友情」に変更し、この校訓に込められた想いをもとに進路通信を作成していきたいと思えます。

4月のスタディーサポート実施日の出来事

私は英語の試験監督（廊下待機）をしていました。その日の試験は各年次で試験時間や休憩時間が異なる日程でした。試験中、他の学年が休み時間で騒がしかったので、その学年の各教室を回って、他の学年が試験中だから静かにお願いしますと伝えました。私の声を通らないくらいに騒がしかったので、聞こえない人もいたかもしれません。あまり静かになりませんでした。廊下で話をしていた生徒にも教室に戻るように伝えたと「今は休み時間なんです」と返答されました。たしかに休み時間は大切なおしゃべりタイムです。

ここで校訓に戻ります。本校の「自由」は「規律」「友情」とともにあります。私は特に「友情」という言葉が入っていて、高校生らしくて素敵だと感じています。南高生として、どういう時に、どういう振る舞いをするべきなのか。その判断に迷うときは、この校訓を思い出してみてください。その後すぐに休憩時間は終わり、HR担任が教室に戻られて、教室は静かになりました。次の試験が始まったのだと思えます。

3年次のスタディーサポート分析会

4月9日に実施したスタディーサポートの結果を受けて、ベネッセから石山さんを招き、分析会を実施しました。その分析を受けて、私の方からお伝えしたいことがあります。

まず、「一般選抜」「特別選抜（総合型・学校推薦）」の両方を考えて受験する生徒が増加しており、両方の活動が中途半端になってしまうという懸念です。志望理由書、小論文、面接に1時間使えば、1日の残りは23時間です。例年、南高生は一般入試で多くの合格を勝ち取っています。特別選抜の対策ばかりに大切な時間を奪われないようにしましょう。

次に、例年の成績推移を見ると、2月→6月→9月の推移に上昇は見られないのですが、9月→11月→本番の推移に着目すると、どの層でも9月から本番まで概ね5%ほど成績が伸びています。つまり、2月→6月→9月に地道に努力して勉強した「結果＝伸び」は11月から本番までに、やっと数字となって表れるということです。「努力しても伸びないと諦めず、そこまで我慢して継続できるか」が一般入試です。合格するよりも難しいのは受験することです。3月の先輩方の合格体験談を思い出してください。合格した人は諦めなかった人です。もしあなたが努力してここまで勉強してきたのだとすれば、肝心の最後で投げ出す必要はありません。もしここから勉強してやると意気込んでいるのだとすれば、もう一度お伝えします。合格するよりも難しいのは受験することです。自分を信じて今やるべきことに全力で取り組む。そして継続する。結局は、今日の1日、1時間です。

4/10 (金) 1年次 オリエンテーション

入学してから3日後、1年生に対して「オリエンテーション」が実施されました。まず1年次主任の岡本先生からお話があり、その後、学校生活に関わる様々な事柄について、「教務部」「生徒指導部」「進路指導部」より説明をしました。体を動かしながら、同じクラスの仲間と触れ合う「アイスブレイク」や図書館の使い方などを紹介する「図書ガイダンス」も開かれました。HR担当が校内を案内する時間や「校歌指導」も盛り込まれ、1年生にとって慌ただしい1日だったと思いますが、しっかりと話を聞く様子が見られ、立派でした。進路の話について私も話す機会がありましたが、ほとんど全員が顔を上げて20分程度の話聞いてくれました。思わず何度も「すごいね」と叫んでしまいました。まずは「高校生活に慣れる」、「規則正しい生活習慣を身に付ける」、「スマホとの距離を保つ」ことが何よりも大切です。高校生活では、勉強、行事、部活動など、夢中になるものがたくさんあります。その1つ1つに全力投球できるように心と体を整えましょう。



進路の手引きが完成しました。3年次生徒にガイダンスを実施しました。

3年生に「進路の手引き」を4月30日(木)に配付しました。進学関係については、入試スケジュールや共通テストについて、また、受験や出願の方法・留意点など、詳細にまとめられています。また、就職関係については、一般企業や公務員関係の採用内定までの流れを具体的な留意点とともに掲載しております。各種届出用紙(実際に担任等に提出する用紙)も綴じ込んでありますので、1年間大切に保管し、使用する手引きとなります。

手引きを配付した7校時、体育館で3年次生徒対象に「進路の手引き」のガイダンスを実施しました。その際、保護者にも必ず見せるように伝えましたので、生徒を通じて一度手引きの内容をご確認ください。受験するのは生徒本人ですが、受験までの流れや留意点を生徒と保護者が情報共有することで、生徒も保護者が応援してくれているという安心感を持つと思います。保護者の方も、いつ、どういう書類を提出することになるのか、ご覧になることでイメージできると思います。よろしく願いいたします。

2026年度 進路の手引き



青森県立弘前南高等学校